

徊がある事例で有意に要措置とされていた。

症状では抑うつ状態では、自殺念慮、自殺企図がある事例で有意に要措置とされるほかは、特に措置要否の診断に影響を与えてはいなかった。

躁状態では、多弁・多動、易怒性・被刺激性亢進、睡眠障害、誇大性で、幻覚妄想状態では全体として、また症状を個々にみても幻覚、妄想、思考形式の障害で、精神運動興奮状態では全体として、また症状を個々にみても、滅裂思考、興奮状態、衝動行為で有意に要措置とされていた。

昏迷状態、意識障害、知能障害を認められた事例はほとんどなかった。

人格障害を認められた事例では、妄想性、演技性、回避性では措置不要とされていたが、衝動性で有意に要措置とされていた。残遺性人格変化を認められた事例はほとんどなく、有意差の判定はできなかった。

その他の症状を認められた事例では、全体で有意に要措置とされていたが、個々の症状、薬物等では有意差は認められなかった。

8 F7 事例

主診断または従診断にF7の診断名が記載されていた164枚の診断書(実人数108例、男性89例、女性19例)を検討した。

40歳以上の高年齢で有意に要措置とされていた。性別、措置入院歴では有意差は見られなかったが、通報種別では一般人申請と知事職務診察で有意に要措置、検察官通報で有意に措置不要とされていた。

問題行動では傷害、暴行、脅迫、自傷、放火または弄火、器物損壊、窃盗において、有意に要措置とされていた。

殺人、自殺企図、不潔、侮辱、強盗、徘徊、家宅侵入、性的異常行動、風俗犯的行動、無断離院、無銭飲食、無賃乗車、その他では有意差は見られなかった。

症状では、抑うつ状態、躁状態、昏迷状態、意識障害、知能障害では、いずれの症状でも有意差は認められなかった。

幻覚妄想状態では、幻覚、妄想、思考形式の障害で、精神運動興奮状態では、硬い表情、興奮状態、衝動行為で、人格の病的状態では、全体で、また衝動性、残遺性人格変化、欠陥状態、無関心、無為において有意に要措置とされていた。

9 まとめ

措置要否の一覧を表7にまとめた。

有意に要措置を「*」で、措置不要を「#」で示した。

属性では、F0で女性、F7で40歳以上は、措置入院歴があるF1、F2、F3では要措置とされやすい、などの傾向が認められた。

通報種別では、F2はほぼ全通報種別で要措置とされていたが、F6、F7の警察官、検察官通報では措置不要とされやすかった。

問題行動では、F2では多くの問題行動で要措置とされていたが、F2以外では傷害、暴行、脅迫、自殺企図、器物損壊、放火または弄火などで要措置とされていた。逆に、F7の窃盗では措置不要とされやすかった。

症状では、F1、F2、F6、F7の幻覚妄想状態、精神運動興奮状態で、要措置とさ

れていた。全診断書では、知的障害で有意に措置不要とされていた。

D. 考察

1 全診断書による分析

全診断書では、措置入院歴を有する群、警察官通報、知事職務診察では有意に要措置、検察官通報、矯正施設長通報で措置不要とされていた。これは警察官通報や知事職務診察では行為時と診察時の時間的差異がないこと、また措置入院歴がある事例では過去の決定を参考としている、あるいは類似の症状をとりやすい可能性があり、自傷他害の恐れを判断しやすいと思われた。一方、検察官通報や矯正施設長通報では、行為時と診断時の状態に差がある、あるいは全例通報が法定されていることなどから措置不要との判断がなされるためと思われた。

また、診断書全体では、問題行動はいずれかでも認められれば要措置とされやすかった。これは個別の診断書を検討する過程で、診断により傾向が異なることが明らかとなった。

精神症状では、自殺念慮または企図など抑うつ状態、多弁・多動、思考奔逸、易怒性・被刺激性亢進、誇大性など躁状態、幻覚妄想状態、精神運動興奮状態、残遺性人格変化で有意に要措置とされていた。ただ、診断別に検討すると、自殺念慮などの抑うつ状態では、要措置とされないことも多く、診断別に差異があることも明らかになった。その一方で、意識混濁、夜間せん妄、精神遅滞、回避性人格障害において、有意に措置不要とされていた。全体として明確な精神症状を有する事例で要措置と、そういった症状を有しない

事例では措置不要とされる傾向が認められた。以上から、指定医は現在の精神病症状の有無を重視して診断しているともいえた。ただし、判断に際しての具体的な重みづけについては、今後の課題である。

2 措置入院歴を有する事例

この検討を行うのにあたり、まず、初回、前回の入院形態によって、措置入院歴を判定を行った。この場合、ほとんどの項目で有意差が認められなかった。前年度までの研究により、診断書のこの項目は措置入院歴をそのまま反映するとは思われなかったため、診断書の生活歴および現病歴、診察時の特記事項を読み込むこととした。この方法により、いくつかの項目で有意差が認められていた。ただし、措置入院歴がすべての診断書に記載されているとは限らず、このために措置入院歴なしとされている事例の中に措置入院歴がある事例が含まれる可能性は少なからずあるものと思われる。

初回、前回の入院歴は、措置入院に関する診断書、医療保護入院の入院届などで記載が求められているが、実際には日時が特定されていない、入院形態に空欄が多いなどの問題があり、記載方法を検討する必要があると思われた。

今回検討を行った措置入院歴を読み込んだ事例については、通報種別においても、全診断書では差異がない一般人申請、あるいは有意に措置不要とされていた検察官通報でも有意に要措置とされていた。こうした傾向は、多くの問題行動や精神症状でも同様であった。ただ知能障害では、全体として、有意に措置不要とされ

ていた。

3 F0 事例

F0 事例では、女性で有意に要措置となっているが、その要因は判然としない。

問題行動や精神症状では、まだら（島状）痴呆症状を認められた事例で、有意に要措置と診断されていたが、その他の項目では措置不要とされることが多かった。

4 F1 事例

F1 では、事例の属性では特に特徴は認められなかったが、問題行動において、殺人、傷害、暴行、脅迫、自殺企図、自傷、不潔、放火または弄火、器物損壊、窃盗、侮辱、恐喝、徘徊、家宅侵入では問題行動が認められた方が、有意に要措置とされていた。

症状では、人格障害ならびに妄想性、衝動性、覚醒剤などの薬物依存を指摘された事例で有意に要措置とされていた。ただし幻覚妄想状態や精神運動興奮状態、自殺念慮などの影響を考慮する必要があると思われた。

5 F2 事例

F2 は、一部の項目を除き、全診断書における傾向と類似していた。

6 F3 事例

F3 では内的不穏、罪責感、自殺念慮または企図などの抑うつ状態で、有意に要措置とされているほかは、やはり全診断書の傾向と類似していた。

7 F6 事例

F6 では、通報種別では警察官通報、検察官通報で有意に措置不要、措置入院歴を有する群で、有意に要措置とされていた。また措置入院歴がある事例は、以前、

今回とも幻覚妄想や精神運動興奮などの精神症状を呈していた可能性が高く、このために今回も要措置と判断されているものと思われた。

そして人格障害では、妄想性、演技性、回避性の人格障害を認められた事例では措置不要とされ、衝動性人格障害で有意に要措置とされていた。

これらの結果から、人格障害の有無では、措置要否の判断に大きな影響はなく、幻覚妄想や精神運動興奮などの精神症状に多くな影響を受けているようであった。ただし、それぞれの因子の関連は今後の検討課題と思われた。

8 F7 事例

F7 では40歳以上、また措置入院歴がある事例で有意に要措置とされており、これまでの既往、現在の精神症状や支援体制が影響しているようでもあった。一方、通報種別では検察官通報で有意に措置不要とされており、これは検察官通報は不起訴とした場合には必ず通報するようされていることも影響していると思われた。

問題行動や精神症状では、全診断書とは差異を認められなかった。

9 この研究の適応と限界について

この研究により、措置入院の要否を判断する際の指定医の判断因子が明らかとなった。

研究結果からは、たとえば「F2では、幻覚妄想が認められると有意に要措置」「F7では窃盗が認められると有意に措置不要」など、いくつかの指定医判断のパターンが指摘できる。また、診断にかかわらず幻覚妄想や精神運動興奮など精神病症状、傷害や暴行などの問題行動があ

ると有意に要措置と判断する、などの傾向が明らかになった。

その一方で、こうした自傷他害の恐れ
の判断が妥当であったかどうかは、当然
ながら、この研究からは明らかにするこ
とはできない。

自傷他害の恐れを評価できる客観的な
判断基準を定め、指定医の判断を一定に
することは重要ではある。しかし、自傷
他害の恐れがあるとされた事例を、経過
観察するといった研究が許されるかどう
かと言った倫理的問題、また仮に許され
たとして支援体制によってもその後の経
過に影響を与えかねないなど複雑な問題
があり、直接の研究は困難とも思われる。

そこで、類似の研究を措置入院の場合
にどの程度、準用が可能か検討するとい
う手だてを考えることとなる。たとえば、
社会の中で支援を受けている通院命令制
度対象患者を、そのまま外来治療継続さ
せるか、入院させるかという判断は、措
置入院させるかという判断と類似する面
がある。また、精神科救急場面での患者
の入院の判断も、同様に類似している。
また入院中のリスクと退院後の暴力出現
の程度をみる研究は、措置解除をどのよ
うに行うかという判断と類似するところ
がある。さらに通報例を長期間追跡する
といった研究も、ある程度、判断の参考
となる可能性がある⁶⁻¹⁰⁾。

ただし、こうした研究は、前提となる
母集団に厳密に限定した上で結果の利用
が可能という場合も多く、また情報が既
往歴など過去の情報にかかるものも多く、
過去の情報が不足し、かつ現在の状態像
で判断せざるを得ないことが多い措置診

察で、ただちに適用することには、相当
な慎重さを要する。

E. 結論

指定医が措置入院の要否を判断する際
の判断因子を明らかにするため、措置入
院に関する診断書を検討した。

結果からは、たとえば「F2 では、幻覚
妄想が認められると有意に要措置とされ
る」「F7 では窃盗が認められると有意に措
置不要とされる」、などといったことが明
らかとなった。

指定医は、主として、幻覚妄想状態や
精神運動興奮状態など、精神病症状に着
目して判断しているようであったが、問
題行動、措置入院歴、などの影響も否定
できないと思われた。

診断、問題行動、症状などのそれぞれ
が、どの程度、影響しているかは明らか
となっておらず、この点については、今
後、検討を進める必要がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

参考文献

1) 吉住昭, 藤林武史, 瀬戸秀文. 措置入
院および措置解除にあたっての精神保健
指定医の判断基準の実態に関する研究-
検察官通報により措置入院に関する診察
を受けた事例について-. pp63-116 厚生科
学研究費補助金・措置入院制度のあり方
に関する研究. 平成 13 年度総括・分担研
究報告書. 2002

2) 吉住昭, 藤林武史, 瀬戸秀文. 措置入

- 院および措置解除にあたっての精神保健指定医の判断基準の実態に関する研究- 検察官通報により措置入院に関する診察を受けた全事例について-. pp57-96 厚生科学研究費補助金・措置入院制度の適正な運用に関する研究. 平成 14 年度総括・分担研究報告書. 2003
- 3) 吉住昭, 藤林武史, 瀬戸秀文. 措置入院および措置解除にあたっての精神保健指定医の判断基準の実態に関する研究- 検察官通報がなされ措置不要になった事例について-. pp97-104 厚生科学研究費補助金・措置入院制度の適正な運用に関する研究. 平成 14 年度総括・分担研究報告書. 2003
- 4) 吉住昭, 藤林武史, 瀬戸秀文. 措置入院および措置解除にあたっての精神保健指定医の判断基準の実態に関する研究- 警察官通報により措置入院に関する診察を受けた全事例について-. pp105-146 厚生科学研究費補助金・措置入院制度の適正な運用に関する研究. 平成 14 年度総括・分担研究報告書. 2003
- 5) 吉住昭, 藤林武史, 瀬戸秀文. 措置入院および措置解除にあたっての精神保健指定医の判断基準の実態に関する研究
(1)一般人の申請・保護観察所長, 矯正施設長の通報・精神病院管理者の届出ならびに知事等の職務により措置入院に関する診察を受けた事例を中心に. pp77-107 厚生労働科学研究費補助金・措置入院制度のあり方に関する研究. 平成 15 年度分担研究報告書. 2004
- 6) Monahan J, Steadman HJ, Appelbaum PS, et al: Developing a clinically useful actuarial tool for assessing violence risk. *British Journal of Psychiatry* 176: 312-319, 2000
- 7) Lindqvist P, Skipworth J: Evidence-based rehabilitation in forensic psychiatry. *British Journal of Psychiatry* 176: 320-323, 2000
- 8) Swanson JW, Swartz MS, Borum R, et al: Involuntary out-patient commitment and reduction of violent behavior in persons with severe mental illness. *British Journal of Psychiatry* 176: 324-331, 2000
- 9) 小島秀吾. 平成 6 年に刑事手続きにおいて心神喪失者または心神耗弱者と認められたもののその後の再犯状況について. pp69-78, 厚生労働科学研究費補助金・触法行為を行った精神障害者の精神医学的評価、治療、社会復帰等に関する研究. 平成 15 年度総括・分担研究報告書. 2004
- 10) 吉住昭. 外来治療と入院治療の見きわめ. *Schizophrenia Frontier* 2: 7-11. 2001

表1 性別

属性	男性			女性			chi-square=
	n	うち要措置	要措置%	n	うち要措置	要措置%	
全事例	3072	2607	84.9%	802	669	83.4%	0.912 n.s.
措置入院歴を有する事例	440	406	92.3%	66	58	87.9%	1.0716 n.s.
F0	88	69	78.4%	25	24	96.0%	5.4316 p<.05
F1	644	542	84.2%	58	44	75.9%	2.2665 n.s.
F2	1806	1643	91.0%	454	403	88.8%	1.6662 n.s.
F3	140	122	87.1%	52	44	84.6%	0.1118 n.s.
F6	208	158	76.0%	100	82	82.0%	2.2781 n.s.
F7	131	90	68.7%	33	22	66.7%	0.0002 n.s.

表2 年齢

属性	39歳以下			40歳以上			chi-square=
	n	うち要措置	要措置%	n	うち要措置	要措置%	
全事例	1926	1627	84.5%	1785	1519	85.1%	0.3284 n.s.
措置入院歴を有する事例	217	198	91.2%	263	244	92.8%	0.6214 n.s.
F0	31	25	80.6%	78	66	84.6%	0.6233 n.s.
F1	333	285	85.6%	345	284	82.3%	1.1091 n.s.
F2	1114	1023	91.8%	1049	941	89.7%	2.6762 n.s.
F3	67	62	92.5%	110	92	83.6%	2.1837 n.s.
F6	195	150	76.9%	102	83	81.4%	1.0696 n.s.
F7	93	59	63.4%	66	51	77.3%	4.1433 p<.05

表3 措置入院歴

属性	措置入院歴なし			措置入院歴あり			chi-square=
	n	うち要措置	要措置%	n	うち要措置	要措置%	
全事例	3369	2812	83.5%	506	464	91.9%	24.469 p<.000001
F0	107	88	82.2%	6	5	83.3%	0.3816 n.s.
F1	582	476	81.8%	120	110	91.7%	7.44 p<.01
F2	1935	1741	90.0%	325	305	93.8%	5.9107 p<.05
F3	163	138	84.7%	29	28	96.6%	3.8821 p<.05
F6	261	200	76.6%	47	40	85.1%	2.079 n.s.
F7	152	104	68.4%	12	8	66.7%	0.0386 n.s.

表4 通報種別

項目	通報種別	n	うち要措置	要措置%	chi-square=
全事例	一般人申請	625	532	85.1%	0.2138 n.s.
	警察官通報	1526	1311	85.9%	4.2312 p<.05
	検察官通報	1322	1075	81.3%	15.96 p<.0001
	矯正施設長通報	159	123	77.4%	6.24 p<.05
	精神病院長届出	64	56	87.5%	0.2315 n.s.
	知事職務診察	183	177	96.7%	22.547 p<.00001
措置入院歴を有する事例	一般人申請	81	79	97.5%	12.307 p<.001
	警察官通報	171	159	93.0%	8.3217 p<.01
	検察官通報	174	153	87.9%	6.1879 p<.05
	矯正施設長通報	24	21	87.5%	2.2599 n.s.
	精神病院長届出	19	16	84.2%	0.0107 n.s.
F0	知事職務診察	36	35	97.2%	2.8282 n.s.
	一般人申請	26	22	84.6%	0.0355 n.s.
	警察官通報	44	36	81.8%	0.3694 n.s.
	検察官通報	36	31	86.1%	0.9154 n.s.
	矯正施設長通報	6	3	50.0%	1.3773 n.s.
	精神病院長届出	0	0	----	-----
F1	知事職務診察	1	1	100.0%	10.471 p<.01
	一般人申請	74	58	78.4%	2.5694 n.s.
	警察官通報	311	270	86.8%	0.4507 n.s.
	検察官通報	225	183	81.3%	0.0057 n.s.
	矯正施設長通報	55	42	76.4%	0.0348 n.s.
	精神病院長届出	9	6	66.7%	2.2349 n.s.
F2	知事職務診察	28	27	96.4%	0.1145 n.s.
	一般人申請	356	317	89.0%	11.448 p<.001
	警察官通報	816	759	93.0%	73.966 p<.000001
	検察官通報	845	741	87.7%	62.864 p<.000001
	矯正施設長通報	77	69	89.6%	13.417 p<.001
	精神病院長届出	41	40	97.6%	13.273 p<.001
F3	知事職務診察	125	120	96.0%	0.0083 n.s.
	一般人申請	33	30	90.9%	1.4242 n.s.
	警察官通報	67	56	83.6%	0.0129 n.s.
	検察官通報	75	64	85.3%	1.121 n.s.
	矯正施設長通報	4	3	75.0%	0.2217 n.s.
	精神病院長届出	3	3	100.0%	2.4481 n.s.
F6	知事職務診察	10	10	100.0%	2.377 n.s.
	一般人申請	62	53	85.5%	0.0585 n.s.
	警察官通報	152	117	77.0%	9.5571 p<.01
	検察官通報	60	40	66.7%	7.988 p<.01
	矯正施設長通報	16	13	81.3%	0.4398 n.s.
	精神病院長届出	5	4	80.0%	0.031 n.s.
F7	知事職務診察	13	13	100.0%	2.278 n.s.
	一般人申請	16	16	100.0%	4.1711 p<.05
	警察官通報	43	39	90.7%	1.2339 n.s.
	検察官通報	83	43	51.8%	49.041 p<.000001
	矯正施設長通報	16	10	62.5%	1.5424 n.s.
	精神病院長届出	4	2	50.0%	2.4381 n.s.
	知事職務診察	2	2	100.0%	5.8273 p<.05

表5 問題行動別の措置要否判定(1)

項目	問題行動	なし		これまで		今後		前後とも		p
		n	うち要措置 割合%	n	うち要措置 割合%	n	うち要措置 割合%	n	うち要措置 割合%	
全事例	殺人	3599	3005 83.5%	24	15 62.5%	52	52 100.0%	201	199 99.0%	p<.000001
	傷害	2419	1918 79.3%	90	27 30.0%	201	197 98.0%	1164	1127 96.8%	p<.000001
	暴行	1802	1375 76.3%	130	29 22.3%	262	258 98.5%	1675	1603 95.7%	p<.000001
	脅迫	2990	2466 82.5%	58	14 24.1%	79	75 94.9%	746	714 95.7%	p<.000001
	自殺企図	3139	2601 82.9%	58	20 34.5%	115	112 97.4%	563	537 95.4%	p<.000001
	自傷	3012	2484 82.5%	56	17 30.4%	188	184 97.9%	615	582 94.6%	p<.000001
	不潔	3360	2813 83.7%	24	10 41.7%	37	34 91.9%	454	414 91.2%	p<.000001
	放火または弄火	3481	2918 83.8%	57	29 50.9%	30	29 96.7%	308	295 95.8%	p<.000001
	器物損壊	2564	2085 81.3%	104	39 37.5%	157	152 96.8%	1041	986 94.7%	p<.000001
	窃盗	3423	2907 84.9%	58	20 34.5%	21	20 95.2%	373	326 87.4%	p<.000001
	侮辱	3566	2990 83.8%	19	6 31.6%	29	28 96.6%	263	248 94.3%	p<.000001
	強盗	3791	3192 84.2%	9	7 77.8%	8	8 100.0%	70	66 94.3%	p<.01
	恐喝	3667	3077 83.9%	14	6 42.9%	18	18 100.0%	180	174 96.7%	p<.000001
	徘徊	3667	3077 83.9%	14	6 42.9%	18	18 100.0%	180	174 96.7%	p<.000001
	家宅侵入	3281	2737 83.4%	64	32 50.0%	89	86 96.6%	436	415 95.2%	p<.000001
	性的異常行動	3718	3140 84.5%	18	7 38.9%	12	11 91.7%	126	113 89.7%	p<.000001
	風俗的行動	3804	3208 84.3%	7	4 57.1%	9	8 88.9%	60	56 93.3%	p<.01
	無断離院	3689	3102 84.1%	4	3 75.0%	126	118 93.7%	61	52 85.2%	p<.01
	無銭飲食	3747	3156 84.2%	9	4 44.4%	37	36 97.3%	87	79 90.8%	p<.0001
	無賃乗車	3775	3178 84.2%	5	4 80.0%	31	28 90.3%	68	64 94.1%	p<.01
その他	3663	3092 84.4%	30	14 46.7%	6	4 66.7%	151	141 93.4%	p<.000001	
措置入院歴を有する事例	殺人	471	430 91.3%	2	1 50.0%	7	7 100.0%	25	25 100.0%	n.s.
	傷害	271	242 89.3%	12	4 33.3%	29	27 93.1%	193	190 98.4%	p<.000001
	暴行	178	154 86.5%	14	6 42.9%	40	39 97.5%	273	264 96.7%	p<.000001
	脅迫	364	331 90.9%	7	1 14.3%	10	9 90.0%	124	122 98.4%	p<.000001
	自殺企図	447	407 91.1%	2	1 50.0%	7	7 100.0%	49	48 98.0%	p<.05
	自傷	414	376 90.8%	1	0 0.0%	24	24 100.0%	66	63 95.5%	p<.01
	不潔	442	403 91.2%	3	2 66.7%	5	5 100.0%	56	54 96.4%	n.s.
	放火または弄火	448	409 91.3%	8	4 66.7%	8	8 100.0%	42	41 97.6%	n.s.
	器物損壊	298	267 89.6%	14	9 64.3%	32	31 96.9%	160	155 96.9%	p<.0001
	窃盗	418	382 91.4%	5	3 60.0%	4	4 100.0%	78	75 96.2%	p<.05
	侮辱	453	412 90.9%	2	1 50.0%	10	10 100.0%	41	41 100.0%	p<.05
	強盗	483	442 91.5%	2	1 50.0%	4	4 100.0%	17	17 100.0%	n.s.
	恐喝	460	421 91.5%	4	2 50.0%	7	7 100.0%	35	34 97.1%	p<.05
	徘徊	376	342 91.0%	4	2 50.0%	17	17 100.0%	105	99 94.3%	p<.01
	家宅侵入	410	371 90.5%	6	5 83.3%	16	16 100.0%	72	71 98.6%	n.s.
	性的異常行動	471	435 92.4%	4	2 50.0%	2	2 100.0%	28	25 89.3%	p<.05
	風俗的行動	490	451 92.0%	2	1 50.0%	0	0 ----	13	12 92.3%	n.s.
	無断離院	475	436 91.8%	1	1 100.0%	17	17 100.0%	13	10 76.9%	n.s.
	無銭飲食	476	435 91.4%	0	0 ----	2	2 100.0%	28	27 96.4%	n.s.
	無賃乗車	490	449 91.6%	1	1 100.0%	4	3 75.0%	11	11 100.0%	n.s.
その他	467	428 91.6%	2	1 50.0%	1	1 100.0%	31	30 96.8%	n.s.	
F0	殺人	98	80 81.6%	3	1 33.3%	1	1 100.0%	13	11 84.6%	n.s.
	傷害	68	55 80.9%	2	0 0.0%	5	3 60.0%	38	35 92.1%	p<.01
	暴行	46	35 76.1%	5	0 0.0%	5	5 100.0%	57	53 93.0%	p<.000001
	脅迫	86	69 80.2%	1	0 0.0%	4	4 100.0%	22	20 90.9%	n.s.
	自殺企図	94	75 79.8%	0	0 ----	4	4 100.0%	15	14 93.3%	n.s.
	自傷	96	79 82.3%	0	0 ----	3	2 66.7%	14	12 85.7%	n.s.
	不潔	95	77 81.1%	0	0 ----	1	1 100.0%	16	15 93.8%	n.s.
	放火または弄火	100	80 80.0%	0	0 ----	1	1 100.0%	12	12 100.0%	n.s.
	器物損壊	78	62 79.5%	1	0 0.0%	1	1 100.0%	32	29 90.6%	n.s.
	窃盗	105	89 84.8%	3	1 33.3%	0	0 ----	4	3 75.0%	n.s.
	侮辱	107	88 82.2%	0	0 ----	0	0 ----	6	5 83.3%	n.s.
	強盗	111	91 82.0%	0	0 ----	0	0 ----	2	2 100.0%	n.s.
	恐喝	113	93 82.3%	0	0 ----	0	0 ----	0	0 ----	----
	徘徊	87	70 80.5%	1	0 0.0%	7	6 85.7%	18	17 94.4%	n.s.
	家宅侵入	98	79 80.6%	0	0 ----	2	2 100.0%	13	12 92.3%	n.s.
	性的異常行動	110	90 81.8%	0	0 ----	0	0 ----	3	0 0.0%	n.s.
	風俗的行動	113	93 82.3%	0	0 ----	0	0 ----	0	0 ----	----
	無断離院	109	90 82.6%	0	0 ----	0	0 ----	4	1 25.0%	n.s.
	無銭飲食	110	90 81.8%	0	0 ----	1	1 100.0%	2	2 100.0%	n.s.
	無賃乗車	111	91 82.0%	0	0 ----	0	0 ----	2	0 0.0%	n.s.
その他	110	91 82.7%	1	0 0.0%	0	0 ----	2	2 100.0%	n.s.	
F1	殺人	642	527 82.1%	2	1 50.0%	12	12 100.0%	45	45 100.0%	p<.01
	傷害	399	304 76.2%	21	8 38.1%	47	46 97.9%	233	226 97.0%	p<.000001
	暴行	291	215 73.9%	30	7 23.3%	54	54 100.0%	324	307 94.8%	p<.000001
	脅迫	509	412 80.9%	16	5 31.3%	8	7 87.5%	166	159 95.8%	p<.000001
	自殺企図	590	485 82.2%	11	2 18.2%	18	18 100.0%	81	79 97.5%	p<.000001
	自傷	510	409 80.2%	14	4 28.6%	49	48 98.0%	127	123 96.9%	p<.000001
	不潔	632	524 82.9%	1	0 0.0%	9	7 77.8%	60	55 91.7%	p<.05
	放火または弄火	632	522 82.6%	9	5 55.6%	4	4 100.0%	57	55 96.5%	p<.01
	器物損壊	409	318 77.8%	21	8 38.1%	24	23 95.8%	244	233 95.5%	p<.000001
	窃盗	599	493 82.3%	9	6 66.7%	7	7 100.0%	86	80 93.0%	p<.05
	侮辱	649	539 83.1%	4	0 0.0%	4	4 100.0%	45	43 95.6%	p<.000001
	強盗	680	564 82.9%	3	3 100.0%	1	1 100.0%	16	16 100.0%	n.s.
	恐喝	639	526 82.3%	2	1 50.0%	3	3 100.0%	57	55 96.5%	p<.05
	徘徊	534	432 80.9%	9	3 33.3%	26	24 92.3%	132	126 95.5%	p<.000001
	家宅侵入	605	502 83.0%	17	9 52.9%	12	12 100.0%	66	62 93.9%	p<.001
	性的異常行動	690	575 83.3%	17	0 0.0%	1	1 100.0%	10	10 100.0%	n.s.
	風俗的行動	694	580 83.6%	17	0 0.0%	2	1 50.0%	5	5 100.0%	n.s.
	無断離院	669	558 83.4%	1	1 100.0%	22	21 95.5%	10	6 60.0%	n.s.
	無銭飲食	694	580 83.6%	17	0 0.0%	8	8 100.0%	25	22 88.0%	n.s.
	無賃乗車	684	570 83.3%	17	0 0.0%	7	6 85.7%	11	10 90.9%	n.s.
その他	618	512 82.8%	6	3 50.0%	3	2 66.7%	65	61 93.8%	p<.05	

表5 問題行動別の措置要否判定(2)

項目	問題行動	なし		これまで		今後		前決とも		P
		n	うち割合	n	うち割合	n	うち割合	n	うち割合	
F2	殺人	2090	1880 90.0%	9	5 55.6%	31	31 100.0%	126	126 100.0%	p<.00001
	傷害	1342	1172 87.3%	46	14 30.4%	129	127 98.4%	737	727 98.6%	p<.000001
	暴行	995	838 84.2%	55	19 34.5%	163	160 98.2%	1038	1020 98.3%	p<.000001
	脅迫	1762	1573 89.3%	23	8 34.8%	53	51 96.2%	417	409 98.1%	p<.000001
	自殺企図	1907	1706 89.5%	25	14 56.0%	73	73 100.0%	252	250 99.2%	p<.000001
	自傷	1848	1653 89.4%	19	9 47.4%	113	112 99.1%	275	267 97.1%	p<.000001
	不潔	1893	1715 90.6%	17	7 41.2%	23	22 95.7%	322	297 92.2%	p<.000001
	放火または再火	2037	1837 90.2%	29	20 69.0%	17	16 94.1%	173	169 97.7%	p<.00001
	器物損壊	1506	1337 88.8%	46	25 54.3%	112	111 99.1%	583	564 96.7%	p<.000001
	窃盗	1980	1808 91.3%	31	14 45.2%	11	11 100.0%	231	210 90.9%	p<.000001
	偽造	2056	1857 90.3%	9	6 66.7%	17	16 94.1%	172	164 95.3%	p<.05
	強盗	2201	1993 90.5%	5	4 80.0%	6	6 100.0%	43	41 95.3%	n.s.
	恐喝	2136	1930 90.4%	6	4 66.7%	13	13 100.0%	100	98 98.0%	p<.01
	詐欺	1646	1470 89.3%	34	22 64.7%	69	68 98.6%	498	476 95.6%	p<.000001
	家宅侵入	1846	1657 89.8%	35	23 65.7%	63	61 96.8%	307	300 97.7%	p<.000001
	性的異常行動	2147	1950 90.8%	10	4 40.0%	10	9 90.0%	84	78 92.9%	p<.000001
	風俗的行動	2205	1997 90.6%	5	3 60.0%	5	5 100.0%	42	41 97.6%	p<.05
	無断離院	2140	1935 90.4%	3	2 66.7%	74	72 97.3%	39	36 92.3%	n.s.
	無断離院	2140	1935 90.4%	3	2 66.7%	74	72 97.3%	39	36 92.3%	n.s.
	無賃乗車	2187	1977 90.4%	3	3 100.0%	24	24 100.0%	41	40 97.6%	n.s.
	その他	2162	1958 90.6%	11	9 81.8%	3	3 100.0%	66	62 93.9%	n.s.
F3	殺人	170	144 84.7%	9	9 100.0%	0	0 ----	12	12 100.0%	n.s.
	傷害	147	123 83.7%	5	3 60.0%	2	2 100.0%	38	38 100.0%	p<.05
	暴行	129	112 86.8%	8	1 12.5%	4	4 100.0%	51	49 96.1%	p<.000001
	脅迫	154	134 87.0%	5	1 20.0%	2	2 100.0%	31	29 93.5%	p<.0001
	自殺企図	109	86 78.9%	1	1 100.0%	6	6 100.0%	76	73 96.1%	p<.01
	自傷	134	110 82.1%	2	1 50.0%	7	6 85.7%	49	49 100.0%	p<.01
	不潔	183	158 86.3%	2	2 100.0%	0	0 ----	7	6 85.7%	n.s.
	放火または再火	181	155 85.6%	1	1 100.0%	0	0 ----	10	10 100.0%	n.s.
	器物損壊	140	123 87.9%	4	1 25.0%	5	4 80.0%	42	38 90.5%	p<.01
	窃盗	174	151 86.8%	1	0 0.0%	0	0 ----	16	15 93.8%	p<.05
	偽造	178	155 87.1%	0	0 ----	1	1 100.0%	12	10 83.3%	n.s.
	強盗	188	163 86.7%	0	0 ----	0	0 ----	3	3 100.0%	n.s.
	恐喝	182	157 86.3%	0	0 ----	0	0 ----	9	9 100.0%	n.s.
	詐欺	164	143 87.2%	1	1 100.0%	0	0 ----	26	22 84.6%	n.s.
	家宅侵入	178	156 87.6%	3	1 33.3%	0	0 ----	10	9 90.0%	p<.05
	性的異常行動	185	160 86.5%	0	0 ----	1	1 100.0%	5	5 100.0%	n.s.
	風俗的行動	188	163 86.7%	0	0 ----	2	2 100.0%	1	1 100.0%	n.s.
	無断離院	180	157 87.2%	0	0 ----	10	8 80.0%	1	1 100.0%	n.s.
	無断飲食	184	160 87.0%	1	0 0.0%	1	1 100.0%	5	5 100.0%	n.s.
	無賃乗車	187	162 86.6%	0	0 ----	0	0 ----	4	0 0.0%	n.s.
	その他	180	159 88.3%	2	0 0.0%	0	0 ----	6	5 83.3%	p<.001
F6	殺人	287	219 76.3%	1	1 100.0%	6	6 100.0%	14	14 100.0%	n.s.
	傷害	188	136 72.3%	12	3 25.0%	9	9 100.0%	99	92 92.9%	p<.000001
	暴行	125	85 68.0%	18	3 16.7%	9	9 100.0%	156	143 91.7%	p<.000001
	脅迫	204	153 75.0%	11	2 18.2%	3	3 100.0%	90	82 91.1%	p<.000001
	自殺企図	215	158 73.5%	7	3 42.9%	6	6 100.0%	80	73 91.3%	p<.001
	自傷	205	153 74.6%	9	3 33.3%	8	8 100.0%	85	75 88.2%	p<.001
	不潔	286	221 77.3%	1	1 100.0%	0	0 ----	21	18 85.7%	n.s.
	放火または再火	264	202 76.5%	2	1 50.0%	7	7 100.0%	35	30 85.7%	n.s.
	器物損壊	192	143 74.5%	11	3 27.3%	6	5 83.3%	98	89 90.8%	p<.00001
	窃盗	278	216 77.7%	3	1 33.3%	2	2 100.0%	23	21 91.3%	n.s.
	偽造	286	219 76.6%	1	0 0.0%	2	2 100.0%	18	18 100.0%	p<.05
	強盗	302	234 77.5%	0	0 ----	2	2 100.0%	4	4 100.0%	n.s.
	恐喝	276	212 76.8%	2	0 0.0%	3	3 100.0%	26	25 96.2%	p<.01
	詐欺	279	214 76.7%	3	1 33.3%	6	6 100.0%	20	19 95.0%	p<.05
	家宅侵入	276	213 77.2%	3	1 33.3%	9	9 100.0%	19	17 89.5%	n.s.
	性的異常行動	295	231 78.3%	1	0 0.0%	0	0 ----	11	9 81.8%	n.s.
	風俗的行動	298	233 78.2%	1	0 0.0%	2	2 100.0%	6	5 83.3%	n.s.
	無断離院	291	225 77.3%	0	0 ----	10	9 90.0%	7	6 85.7%	n.s.
	無断飲食	296	229 77.4%	0	0 ----	2	2 100.0%	10	9 90.0%	n.s.
	無賃乗車	298	231 77.5%	0	0 ----	0	0 ----	10	9 90.0%	n.s.
	その他	283	218 77.0%	2	0 0.0%	0	0 ----	18	18 100.0%	p<.01
F7	殺人	157	106 67.5%	1	0 0.0%	4	4 100.0%	2	2 100.0%	n.s.
	傷害	108	65 60.2%	7	0 0.0%	3	3 100.0%	46	44 95.7%	p<.000001
	暴行	87	42 48.3%	3	0 0.0%	7	7 100.0%	67	63 94.0%	p<.000001
	脅迫	128	83 64.8%	3	0 0.0%	1	1 100.0%	32	28 87.5%	p<.01
	自殺企図	142	92 64.8%	1	1 100.0%	2	2 100.0%	19	17 89.5%	n.s.
	自傷	141	93 66.0%	3	1 33.3%	2	0 0.0%	20	18 90.0%	p<.05
	不潔	143	95 66.4%	0	0 ----	1	1 100.0%	20	16 80.0%	n.s.
	放火または再火	125	82 65.6%	8	2 25.0%	0	0 ----	31	28 90.3%	p<.001
	器物損壊	114	67 58.8%	3	1 33.3%	3	3 100.0%	44	41 93.2%	p<.001
	窃盗	124	91 73.4%	6	0 0.0%	0	0 ----	34	21 61.8%	p<.001
	偽造	158	106 67.1%	0	0 ----	1	1 100.0%	5	5 100.0%	n.s.
	強盗	154	106 68.8%	2	0 0.0%	1	1 100.0%	7	5 71.4%	n.s.
	恐喝	148	97 65.5%	1	0 0.0%	1	1 100.0%	14	14 100.0%	p<.05
	詐欺	129	87 67.4%	4	1 25.0%	4	4 100.0%	25	19 76.0%	n.s.
	家宅侵入	135	92 68.1%	3	2 66.7%	3	3 100.0%	21	15 71.4%	n.s.
	性的異常行動	151	106 70.2%	5	1 20.0%	0	0 ----	8	5 62.5%	n.s.
	風俗的行動	161	109 67.7%	0	0 ----	0	0 ----	0	0 ----	n.s.
	無断離院	154	103 66.9%	2	1 50.0%	4	4 100.0%	4	4 100.0%	n.s.
	無断飲食	159	109 68.6%	1	0 0.0%	1	1 100.0%	3	2 66.7%	n.s.
	無賃乗車	160	108 67.5%	0	0 ----	0	0 ----	4	4 100.0%	n.s.
	その他	153	103 67.3%	3	2 66.7%	0	0 ----	5	5 100.0%	n.s.

表6 症状(1)

症状	全診断書					chi-square=	措置入院歴を有する事例					chi-square=
	なし		あり		なし		あり					
	n	うち措置量 措置量%	n	うち措置量 措置量%	n		うち措置量 措置量%	n	うち措置量 措置量%			
I 抑うつ状態	3356	2859 85.2%	518	417 80.5%	p<.01	465	425 91.4%	41	39 95.1%	n.s.		
I.1 抑うつ気分	3609	3069 85.0%	265	207 78.1%	p<.01	483	442 91.5%	23	22 95.7%	n.s.		
I.2 内的不穏	3628	3069 84.6%	246	207 84.1%	n.s.	481	439 91.3%	25	25 100.0%	n.s.		
I.3 焦燥・激越	3673	3109 84.6%	201	167 83.1%	n.s.	487	446 91.6%	19	18 94.7%	n.s.		
I.4 精神運動抑制	3818	3228 84.5%	56	48 85.7%	n.s.	499	457 91.6%	7	7 100.0%	n.s.		
I.5 罪責感	3801	3213 84.5%	73	63 86.3%	n.s.	499	457 91.6%	7	7 100.0%	n.s.		
I.6 自殺念慮または企図	3549	2979 83.9%	325	297 91.4%	p<.001	478	437 91.4%	28	27 96.4%	n.s.		
I.7 睡眠障害	3636	3080 84.7%	238	196 82.4%	n.s.	489	447 91.4%	17	17 100.0%	n.s.		
I.8 食欲障害または体重減少	3771	3195 84.7%	103	81 78.6%	n.s.	496	454 91.5%	10	10 100.0%	n.s.		
I.9 その他	3861	3265 84.6%	13	11 84.6%	n.s.	504	462 91.7%	2	2 100.0%	n.s.		
II 躁状態	3350	2815 84.0%	524	461 88.0%	p<.05	429	389 90.7%	77	75 97.4%	p<.01		
II.1 高揚気分	3667	3096 84.4%	207	180 87.0%	n.s.	481	439 91.3%	25	25 100.0%	n.s.		
II.2 多弁・多動	3614	3045 84.3%	260	231 88.8%	p<.05	473	431 91.1%	33	33 100.0%	p<.05		
II.3 行為心逸	3780	3195 84.5%	94	81 86.2%	n.s.	493	451 91.5%	13	13 100.0%	n.s.		
II.4 思考奔逸	3755	3168 84.4%	119	108 90.8%	p<.05	486	444 91.4%	20	20 100.0%	n.s.		
II.5 易怒性・被刺激性亢進	3449	2899 84.1%	425	377 88.7%	p<.01	441	401 90.9%	65	63 96.9%	p<.05		
II.6 睡眠障害	3705	3130 84.5%	169	146 86.4%	n.s.	480	438 91.3%	26	26 100.0%	n.s.		
II.7 誇大性	3729	3145 84.3%	145	131 90.3%	p<.05	488	446 91.4%	18	18 100.0%	n.s.		
II.8 その他	3865	3269 84.6%	9	7 77.8%	n.s.	506	464 91.7%	0	0 ----	----		
III 幻覚妄想状態	1038	721 69.5%	2836	2555 90.1%	p<.000001	116	97 83.6%	390	367 94.1%	p<.0001		
III.1 幻覚	1891	1481 78.3%	1983	1795 90.5%	p<.000001	240	218 90.8%	266	246 92.5%	n.s.		
III.2 妄想	1438	1054 73.3%	2436	2222 91.2%	p<.000001	169	146 86.4%	337	318 94.4%	p<.001		
III.3 させられ体験	3350	2795 83.4%	524	481 91.8%	p<.000001	435	394 90.6%	71	70 98.6%	p<.05		
III.4 思考形式の障害	2443	1953 79.9%	1431	1323 92.5%	p<.000001	288	254 88.2%	218	210 96.3%	p<.001		
III.5 著しく奇異な行為	2902	2375 81.8%	972	901 92.7%	p<.000001	369	333 90.2%	137	131 95.6%	p<.05		
III.6 その他	3762	3178 84.5%	112	98 87.5%	n.s.	492	452 91.9%	14	12 85.7%	n.s.		
IV 精神運動興奮状態	1612	1186 73.6%	2262	2090 92.4%	p<.000001	184	153 83.2%	322	311 96.6%	p<.000001		
IV.1 減衰思考	3060	2513 82.1%	814	763 93.7%	p<.000001	384	347 90.4%	122	117 95.9%	p<.05		
IV.2 硬い表情・姿勢	2724	2206 81.0%	1150	1070 93.0%	p<.000001	347	312 89.9%	159	152 95.6%	p<.05		
IV.3 興奮状態	2442	1932 79.1%	1432	1344 93.9%	p<.000001	297	262 88.2%	209	202 96.7%	p<.001		
IV.4 衝動行為	2452	1917 78.2%	1422	1359 95.6%	p<.000001	299	262 87.6%	207	202 97.6%	p<.0001		
IV.5 自傷	3580	2994 83.6%	294	282 95.9%	p<.000001	480	438 91.3%	26	26 100.0%	n.s.		
IV.6 その他	3780	3191 84.4%	94	85 90.4%	n.s.	490	448 91.4%	16	16 100.0%	n.s.		
V 昏迷状態	3687	3110 84.4%	187	166 88.8%	n.s.	479	438 91.4%	27	26 96.3%	n.s.		
V.1 無言	3799	3209 84.5%	74	66 89.2%	n.s.	500	458 91.6%	6	6 100.0%	n.s.		
V.2 無動・無反応	3811	3220 84.5%	63	56 88.9%	n.s.	500	458 91.6%	6	6 100.0%	n.s.		
V.3 拒絶・拒食	3743	3158 84.4%	131	118 90.1%	n.s.	486	444 91.4%	20	20 100.0%	n.s.		
V.4 その他	3863	3268 84.6%	11	8 72.7%	n.s.	503	462 91.8%	3	2 66.7%	n.s.		
VI 意識障害	3710	3140 84.6%	164	136 82.9%	n.s.	490	448 91.4%	16	16 100.0%	n.s.		
VI.1 意識混濁	3832	3247 84.7%	42	29 69.0%	p<.01	502	460 91.6%	4	4 100.0%	n.s.		
VI.2 (夜間)せん妄	3838	3251 84.7%	36	25 69.4%	p<.05	504	462 91.7%	2	2 100.0%	n.s.		
VI.3 もうろう	3845	3252 84.6%	29	24 82.8%	n.s.	502	460 91.6%	4	4 100.0%	n.s.		
VI.4 錯乱	3825	3232 84.5%	49	44 89.8%	n.s.	499	457 91.6%	7	7 100.0%	n.s.		
VI.5 その他	3838	3245 84.5%	36	31 86.1%	n.s.	505	463 91.7%	1	1 100.0%	p<.05		
VI.6 知能障害	3598	3074 85.4%	276	202 73.2%	p<.000001	487	450 92.4%	19	14 73.7%	p<.05		
VII A 精神遅滞	3669	3131 85.3%	205	145 70.7%	p<.000001	489	451 92.2%	17	13 76.5%	n.s.		
VII B 痴呆	3802	3219 84.7%	72	57 79.2%	n.s.	504	463 91.9%	2	1 50.0%	n.s.		
VII B1 全体的	3848	3256 84.6%	26	20 76.9%	n.s.	505	464 91.9%	1	0 0.0%	n.s.		
VII B2 まだら(島状)	3844	3248 84.5%	30	28 93.3%	n.s.	505	463 91.7%	1	1 100.0%	p<.05		
VII B3 仮性	3873	3275 84.6%	1	1 100.0%	n.s.	506	464 91.7%	0	0 ----	----		
VII B4 その他	3861	3267 84.6%	13	9 69.2%	n.s.	506	464 91.7%	0	0 ----	----		
VIII 人格の病的状態	2709	2283 84.3%	1165	993 85.2%	n.s.	323	296 91.6%	183	168 91.8%	n.s.		
VIII A 人格障害	3267	2773 84.9%	607	503 82.9%	n.s.	416	384 92.3%	90	80 88.9%	n.s.		
VIII A1 妄想性	3692	3114 84.3%	182	162 89.0%	n.s.	473	432 91.3%	33	32 97.0%	n.s.		
VIII A2 衝動性	3488	2947 84.5%	386	329 85.2%	n.s.	450	414 92.0%	58	50 89.3%	n.s.		
VIII A3 演技性	3810	3224 84.6%	64	52 81.3%	n.s.	495	455 91.9%	11	9 81.8%	n.s.		
VIII A4 回避性	3837	3250 84.7%	37	26 70.3%	p<.05	501	461 92.0%	5	3 60.0%	n.s.		
VIII A5 その他	3718	3158 84.9%	156	118 75.6%	p<.01	484	446 92.1%	22	18 81.8%	n.s.		
VIII B 残遺性人格変化	3256	2730 83.8%	618	546 88.3%	p<.01	401	364 90.8%	105	100 95.2%	n.s.		
VIII B1 欠陥状態	3392	2848 84.0%	482	428 88.8%	p<.01	427	388 90.9%	79	76 96.2%	n.s.		
VIII B2 無関心	3608	3046 84.4%	266	230 86.5%	n.s.	463	424 91.6%	43	40 93.0%	n.s.		
VIII B3 無為	3541	2985 84.3%	333	291 87.4%	n.s.	450	413 91.8%	56	51 91.1%	n.s.		
VIII B4 その他	3804	3212 84.4%	70	64 91.4%	n.s.	494	452 91.5%	12	12 100.0%	n.s.		
IX その他	3239	2744 84.7%	635	532 83.8%	n.s.	392	364 92.9%	114	100 87.7%	n.s.		
IX A 性的心理的障害	3855	3261 84.6%	19	15 78.9%	n.s.	502	462 92.0%	4	2 50.0%	p<.05		
IX A1 フェティシズム	3871	3273 84.6%	3	3 100.0%	n.s.	506	464 91.7%	0	0 ----	----		
IX A2 サド・マゾヒズム	3874	3276 84.6%	0	0 ----	----	506	464 91.7%	0	0 ----	----		
IX A3 小児愛	3874	3276 84.6%	0	0 ----	----	506	464 91.7%	0	0 ----	----		
IX A4 その他	3857	3263 84.6%	17	13 76.5%	n.s.	502	462 92.0%	4	2 50.0%	p<.05		
IX B 薬物依存	3482	2940 84.4%	392	336 85.7%	n.s.	427	393 92.0%	79	71 89.9%	n.s.		
IX B1 覚醒剤	3601	3038 84.4%	273	238 87.2%	n.s.	457	420 91.9%	49	44 89.8%	n.s.		
IX B2 有機溶剤	3768	3185 84.5%	106	91 85.8%	n.s.	481	441 91.7%	25	23 92.0%	n.s.		
IX B3 麻薬	3836	3243 84.5%	38	33 86.8%	n.s.	500	459 91.8%	6	5 83.3%	n.s.		
IX B4 その他	3825	3233 84.5%	49	43 87.8%	n.s.	494	453 91.7%	12	11 91.7%	n.s.		
IX C アルコール症	3554	3015 84.8%	320	261 81.6%	n.s.	463	426 92.0%	43	38 88.4%	n.s.		
IX D その他	3763	3198 85.0%	111	78 70.3%	p<.0001	490	450 91.8%	16	14 87.5%	n.s.		

表6 症状(2)

症状	F0				chi-square=	F1				chi-square=
	なし		あり			なし		あり		
	n	うち重症率 重症率%	n	うち重症率 重症率%		n	うち重症率 重症率%	n	うち重症率 重症率%	
I抑うつ状態	99	82 82.8%	14	11 78.6%	n.s.	601	507 84.4%	100	79 79.0%	n.s.
I.1.抑うつ気分	105	87 82.9%	8	6 75.0%	n.s.	652	547 83.9%	49	39 79.6%	n.s.
I.2.内的不穏	105	87 82.9%	8	6 75.0%	n.s.	654	548 83.8%	47	38 80.9%	n.s.
I.3.焦燥・激越	109	90 82.6%	4	3 75.0%	n.s.	660	551 83.5%	41	35 85.4%	n.s.
I.4.精神運動抑制	111	91 82.0%	2	2 100.0%	n.s.	695	582 83.7%	6	4 66.7%	n.s.
I.5.罪悪感	112	93 83.0%	1	0 0.0%	n.s.	689	578 83.9%	12	8 66.7%	n.s.
I.6.自覚念慮または企図	103	84 81.6%	10	9 90.0%	n.s.	653	541 82.8%	48	45 93.8%	p<.05
I.7.睡眠障害	108	90 83.3%	5	3 60.0%	n.s.	656	551 84.0%	45	35 77.8%	n.s.
I.8.食欲障害または体重減少	110	90 81.8%	3	3 100.0%	n.s.	689	580 84.2%	12	6 50.0%	p<.01
I.9.その他	112	92 82.1%	1	1 100.0%	n.s.	699	584 83.5%	2	2 100.0%	n.s.
II躁状態	101	81 80.2%	12	12 100.0%	p<.05	611	503 82.3%	90	83 92.2%	p<.05
II.1.高揚気分	113	93 82.3%	0	0 ----	----	671	559 83.3%	30	27 90.0%	n.s.
II.2.多弁・多動	110	90 81.8%	3	3 100.0%	n.s.	674	561 83.2%	27	25 92.6%	n.s.
II.3.行爲心迫	113	93 82.3%	0	0 ----	----	693	580 83.7%	8	6 75.0%	n.s.
II.4.思考奔逸	113	93 82.3%	0	0 ----	----	690	576 83.5%	11	10 90.9%	n.s.
II.5.易怒性・被刺激性亢進	102	82 80.4%	11	11 100.0%	p<.05	631	521 82.6%	70	65 92.9%	p<.05
II.6.睡眠障害	112	92 82.1%	1	1 100.0%	n.s.	678	566 83.5%	23	20 87.0%	n.s.
II.7.闘心性	111	91 82.0%	2	2 100.0%	n.s.	683	569 83.3%	18	17 94.4%	n.s.
II.8.その他	113	93 82.3%	0	0 ----	----	700	586 83.7%	1	0 0.0%	n.s.
III幻覚妄想状態	55	42 76.4%	58	51 87.9%	n.s.	215	150 69.8%	486	436 89.7%	p<.000001
III.1.幻覚	81	66 81.5%	32	27 84.4%	n.s.	304	232 76.3%	397	354 89.2%	p<.00001
III.2.妄想	65	51 78.5%	48	42 87.5%	n.s.	297	214 72.1%	404	372 92.1%	p<.000001
III.3.させられ体験	105	87 82.9%	8	6 75.0%	n.s.	636	523 82.2%	65	63 96.9%	p<.01
III.4.思考形式の障害	100	82 82.0%	13	11 84.6%	n.s.	524	423 80.7%	177	163 92.1%	p<.0001
III.5.著しく奇異な行爲	99	82 82.8%	14	11 78.6%	n.s.	574	465 81.0%	127	121 95.3%	p<.0001
III.6.その他	111	91 82.0%	2	2 100.0%	n.s.	680	569 83.7%	21	17 81.0%	n.s.
IV精神運動興奮状態	52	37 71.2%	61	56 91.8%	p<.01	346	248 71.7%	355	338 95.2%	p<.000001
IV.1.減退思考	95	76 80.0%	18	17 94.4%	n.s.	600	490 81.7%	101	96 95.0%	p<.001
IV.2.激しい感情・姿勢	88	72 81.8%	25	21 84.0%	n.s.	551	442 80.2%	150	144 96.0%	p<.00001
IV.3.興奮状態	69	50 72.5%	44	43 97.7%	p<.001	454	349 76.9%	247	237 96.0%	p<.000001
IV.4.衝動行爲	65	46 70.8%	48	47 97.9%	p<.0001	478	367 76.8%	223	219 98.2%	p<.000001
IV.5.自傷	105	86 81.9%	8	7 87.5%	n.s.	641	528 82.4%	60	58 96.7%	p<.01
IV.6.その他	112	92 82.1%	1	1 100.0%	n.s.	687	572 83.3%	14	14 100.0%	p<.05
V昏迷状態	110	90 81.8%	3	3 100.0%	n.s.	686	571 83.2%	15	15 100.0%	p<.05
V.1.無言	112	92 82.1%	1	1 100.0%	n.s.	695	580 83.5%	6	6 100.0%	n.s.
V.2.無動・無反応	111	91 82.0%	2	2 100.0%	n.s.	697	582 83.5%	4	4 100.0%	n.s.
V.3.拒絶・拒食	112	92 82.1%	1	1 100.0%	n.s.	691	576 83.4%	10	10 100.0%	n.s.
V.4.その他	113	93 82.3%	0	0 ----	----	700	585 83.6%	1	1 100.0%	n.s.
VI意識障害	84	72 85.7%	29	21 72.4%	n.s.	632	530 83.9%	69	56 81.2%	n.s.
VI.1.意識混濁	105	89 84.8%	8	4 50.0%	p<.05	680	572 84.1%	21	14 66.7%	n.s.
VI.2.(夜間)せん妄	101	87 86.1%	12	6 50.0%	p<.01	678	569 83.9%	23	17 73.9%	n.s.
VI.3.もうろう	107	89 83.2%	6	4 66.7%	n.s.	693	579 83.5%	8	7 87.5%	n.s.
VI.4.錯乱	106	86 81.1%	7	7 100.0%	n.s.	681	568 83.4%	20	18 90.0%	n.s.
VI.5.その他	105	86 81.9%	8	7 87.5%	n.s.	692	578 83.5%	9	8 88.9%	n.s.
VII知能障害	59	47 79.7%	54	46 85.2%	n.s.	669	557 83.3%	32	29 90.6%	n.s.
VIIA精神遅滞	105	87 82.9%	8	6 75.0%	n.s.	681	567 83.3%	20	19 95.0%	n.s.
VIIB痴呆	66	53 80.3%	47	40 85.1%	n.s.	689	576 83.6%	12	10 83.3%	n.s.
VII.1.全体的	95	77 81.1%	18	16 88.9%	n.s.	698	583 83.5%	3	3 100.0%	n.s.
VII.2.まだら(島状)	89	70 78.7%	24	23 95.8%	p<.05	697	584 83.8%	4	2 50.0%	n.s.
VII.3.仮性	113	93 82.3%	0	0 ----	----	701	586 83.6%	0	0 ----	----
VII.4.その他	107	90 84.1%	6	3 50.0%	n.s.	696	581 83.5%	5	5 100.0%	n.s.
VIII人格の病的状態	87	73 83.9%	26	20 76.9%	n.s.	528	434 82.2%	173	152 87.9%	n.s.
VIII.1.人格障害	91	76 83.5%	22	17 77.3%	n.s.	554	455 82.1%	147	131 89.1%	p<.05
VIII.1.1.妄想性	110	90 81.8%	3	3 100.0%	n.s.	674	559 82.9%	27	27 100.0%	p<.01
VIII.1.2.衝動性	96	79 82.3%	17	14 82.4%	n.s.	614	505 82.2%	87	81 93.1%	p<.01
VIII.1.3.演技性	111	91 82.0%	2	2 100.0%	n.s.	688	575 83.6%	13	11 84.6%	n.s.
VIII.1.4.回避性	113	93 82.3%	0	0 ----	----	686	573 83.5%	15	13 86.7%	n.s.
VIII.1.5.その他	109	91 83.5%	4	2 50.0%	n.s.	655	549 83.8%	46	37 80.4%	n.s.
VIII.2.残遺性人格変化	108	89 82.4%	5	4 80.0%	n.s.	659	549 83.3%	42	37 88.1%	n.s.
VIII.2.1.欠陥状態	110	90 81.8%	3	3 100.0%	n.s.	674	563 83.5%	27	23 85.2%	n.s.
VIII.2.2.無関心	112	93 83.0%	1	0 0.0%	n.s.	686	573 83.5%	15	13 86.7%	n.s.
VIII.2.3.無為	112	92 82.1%	1	1 100.0%	n.s.	679	566 83.4%	22	20 90.9%	n.s.
VIII.2.4.その他	112	92 82.1%	1	1 100.0%	n.s.	698	583 83.5%	3	3 100.0%	n.s.
IXその他	100	84 84.0%	13	9 69.2%	n.s.	246	194 78.9%	455	392 86.2%	p<.05
IX.1.心理的障害	113	93 82.3%	0	0 ----	----	701	586 83.6%	0	0 ----	----
IX.1.1.フェティシズム	113	93 82.3%	0	0 ----	----	701	586 83.6%	0	0 ----	----
IX.1.2.サド・マゾヒズム	113	93 82.3%	0	0 ----	----	701	586 83.6%	0	0 ----	----
IX.1.3.小児愛	113	93 82.3%	0	0 ----	----	701	586 83.6%	0	0 ----	----
IX.1.4.その他	113	93 82.3%	0	0 ----	----	701	586 83.6%	0	0 ----	----
IX.2.薬物依存	110	91 82.7%	3	2 66.7%	n.s.	401	320 79.8%	300	266 88.7%	p<.01
IX.2.1.覚醒剤	113	93 82.3%	0	0 ----	----	479	384 80.2%	222	202 91.0%	p<.001
IX.2.2.有機溶剤	110	91 82.7%	3	2 66.7%	n.s.	626	520 83.1%	75	66 88.0%	n.s.
IX.2.3.睡眠薬	113	93 82.3%	0	0 ----	----	673	562 83.5%	28	24 85.7%	n.s.
IX.2.4.その他	113	93 82.3%	0	0 ----	----	672	562 83.6%	29	24 82.8%	n.s.
IX.3.アルコール症	106	88 83.0%	7	5 71.4%	n.s.	430	367 85.3%	271	219 80.8%	n.s.
IX.4.その他	104	88 84.6%	9	5 55.6%	n.s.	673	566 84.1%	28	20 71.4%	n.s.

表6 症状(3)

症状	F2					chi-square=	F3					chi-square=
	なし		あり		n		なし		あり		n	
	n	うち要措置 要措置%	n	うち要措置 要措置%			n	うち要措置 要措置%	n	うち要措置 要措置%		
I 抑うつ状態	2092	1902 90.9%	168	144 85.7%	p<.05	98	82 83.7%	93	84 90.3%	n.s.		
I 1 抑うつ気分	2198	1998 90.9%	62	48 77.4%	p<.001	117	98 83.8%	74	68 91.9%	n.s.		
I 2 内的不穏	2203	1993 90.5%	57	53 93.0%	n.s.	137	115 83.9%	54	51 94.4%	p<.05		
I 3 焦燥・激越	2217	2011 90.7%	43	35 81.4%	n.s.	140	121 86.4%	51	45 88.2%	n.s.		
I 4 精神運動制止	2253	2040 90.5%	7	6 85.7%	n.s.	161	139 86.3%	30	27 90.0%	n.s.		
I 5 罪責感	2247	2035 90.6%	13	11 84.6%	n.s.	157	133 84.7%	34	33 97.1%	p<.05		
I 6 自殺念慮または企図	2158	1951 90.4%	102	95 93.1%	n.s.	122	99 81.1%	69	67 97.1%	p<.001		
I 7 睡眠障害	2184	1981 90.7%	76	65 85.5%	n.s.	140	119 85.0%	51	47 92.2%	n.s.		
I 8 食欲障害または体重減少	2237	2025 90.5%	23	21 91.3%	n.s.	158	136 86.1%	33	30 90.9%	n.s.		
I 9 その他	2256	2043 90.6%	4	3 75.0%	n.s.	188	164 87.2%	3	2 66.7%	n.s.		
II 躁状態	2021	1827 90.4%	239	219 91.6%	n.s.	92	81 88.0%	99	85 85.9%	n.s.		
II 1 高揚気分	2183	1977 90.6%	77	69 89.6%	n.s.	119	101 84.9%	72	65 90.3%	n.s.		
II 2 多弁・多動	2156	1950 90.4%	104	96 92.3%	n.s.	116	100 86.2%	75	66 88.0%	n.s.		
II 3 行為心迫	2228	2017 90.5%	32	29 90.6%	n.s.	154	135 87.7%	37	31 83.8%	n.s.		
II 4 思考奔逸	2224	2014 90.6%	36	32 88.9%	n.s.	142	122 85.9%	49	44 89.8%	n.s.		
II 5 易怒性・被刺激性亢進	2070	1872 90.4%	190	174 91.6%	n.s.	105	93 88.6%	86	73 84.9%	n.s.		
II 6 睡眠障害	2198	1990 90.5%	62	56 90.3%	n.s.	136	117 86.0%	55	49 89.1%	n.s.		
II 7 誇大性	2196	1986 90.4%	64	60 93.8%	n.s.	144	125 86.8%	47	41 87.2%	n.s.		
II 8 その他	2259	2045 90.5%	1	1 100.0%	p<.05	184	161 87.5%	7	5 71.4%	n.s.		
III 幻覚妄想状態	219	179 81.7%	2041	1867 91.5%	p<.00001	152	131 86.2%	39	35 89.7%	n.s.		
III 1 幻覚	828	734 88.6%	1432	1312 91.6%	p<.05	176	153 86.9%	15	13 86.7%	n.s.		
III 2 妄想	463	392 84.7%	1797	1654 92.0%	p<.000001	164	142 86.6%	27	24 88.9%	n.s.		
III 3 させられ体験	1828	1646 90.0%	432	400 92.6%	n.s.	188	164 87.2%	3	2 66.7%	n.s.		
III 4 思考形式の障害	1099	962 87.5%	1161	1084 93.4%	p<.000001	182	158 86.8%	9	8 88.9%	n.s.		
III 5 著しく奇異な行為	1515	1350 89.1%	745	696 93.4%	p<.001	184	160 87.0%	7	6 85.7%	n.s.		
III 6 その他	2184	1976 90.5%	76	70 92.1%	n.s.	189	165 87.3%	2	1 50.0%	n.s.		
IV 精神運動興奮状態	739	615 83.2%	1521	1431 94.1%	p<.000001	162	139 85.8%	29	27 93.1%	n.s.		
IV 1 忸怩思考	1616	1439 89.0%	644	607 94.3%	p<.0001	187	163 87.2%	4	3 75.0%	n.s.		
IV 2 硬い表情・姿勢	1404	1240 88.3%	856	806 94.2%	p<.00001	185	161 87.0%	6	5 83.3%	n.s.		
IV 3 興奮状態	1353	1175 86.8%	907	871 96.0%	p<.000001	174	150 86.2%	17	16 94.1%	n.s.		
IV 4 衝動行為	1329	1141 85.9%	931	905 97.2%	p<.000001	173	149 86.1%	18	17 94.4%	n.s.		
IV 5 自傷	2090	1881 90.0%	170	165 97.1%	p<.01	186	161 86.6%	5	5 100.0%	n.s.		
IV 6 その他	2205	1994 90.4%	55	52 94.5%	n.s.	190	165 86.8%	1	1 100.0%	n.s.		
V 昏迷状態	2123	1923 90.6%	137	123 89.8%	n.s.	190	165 86.8%	1	1 100.0%	n.s.		
V 1 無言	2203	1993 90.5%	57	53 93.0%	n.s.	191	166 86.9%	0	0 ----	----		
V 2 無動・無反応	2209	1999 90.5%	51	47 92.2%	n.s.	191	166 86.9%	0	0 ----	----		
V 3 拒絶・拒食	2166	1961 90.5%	94	85 90.4%	n.s.	190	165 86.8%	1	1 100.0%	n.s.		
V 4 その他	2253	2040 90.5%	7	6 85.7%	n.s.	191	166 86.9%	0	0 ----	----		
VI 意識障害	2217	2007 90.5%	43	39 90.7%	n.s.	186	162 87.1%	5	4 80.0%	n.s.		
VI 1 意識混濁	2250	2038 90.6%	10	8 80.0%	n.s.	191	166 86.9%	0	0 ----	----		
VI 2 (夜間)せん妄	2257	2044 90.6%	3	2 66.7%	n.s.	189	165 87.3%	2	1 50.0%	n.s.		
VI 3 もうろう	2252	2039 90.5%	8	7 87.5%	n.s.	190	165 86.8%	1	1 100.0%	n.s.		
VI 4 錯乱	2244	2031 90.5%	16	15 93.8%	n.s.	189	164 86.8%	2	2 100.0%	n.s.		
VI 5 その他	2251	2037 90.5%	9	9 100.0%	n.s.	191	166 86.9%	0	0 ----	----		
VII 知能障害	2169	1965 90.6%	91	81 89.0%	n.s.	183	158 86.3%	8	8 100.0%	n.s.		
VII A 精神遅滞	2184	1978 90.6%	76	68 89.5%	n.s.	187	162 86.6%	4	4 100.0%	n.s.		
VII B 痴呆	2245	2033 90.6%	15	13 86.7%	n.s.	187	162 86.6%	4	4 100.0%	n.s.		
VII B 1 全体的	2252	2039 90.5%	8	7 87.5%	n.s.	190	165 86.8%	1	1 100.0%	n.s.		
VII B 2 まだら(鳥状)	2258	2044 90.5%	2	2 100.0%	n.s.	188	163 86.7%	3	3 100.0%	n.s.		
VII B 3 仮性	2259	2045 90.5%	1	1 100.0%	p<.05	191	166 86.9%	0	0 ----	----		
VII B 4 その他	2257	2043 90.5%	3	3 100.0%	n.s.	191	166 86.9%	0	0 ----	----		
VIII 人格の病的状態	1545	1403 90.8%	715	643 89.9%	n.s.	167	144 86.2%	24	22 91.7%	n.s.		
VIII A 人格障害	2066	1869 90.5%	194	177 91.2%	n.s.	168	145 86.3%	23	21 91.3%	n.s.		
VIII A 1 妄想性	2161	1955 90.5%	99	91 91.9%	n.s.	189	164 86.8%	2	2 100.0%	n.s.		
VIII A 2 衝動性	2141	1936 90.4%	119	110 92.4%	n.s.	175	151 86.3%	16	15 93.8%	n.s.		
VIII A 3 演技性	2246	2034 90.6%	14	12 85.7%	n.s.	186	162 87.1%	5	4 80.0%	n.s.		
VIII A 4 回避性	2252	2041 90.6%	8	5 62.5%	p<.05	189	164 86.8%	2	2 100.0%	n.s.		
VIII A 5 その他	2233	2023 90.6%	27	23 85.2%	n.s.	181	156 86.2%	10	10 100.0%	n.s.		
VIII B 残遺性人格変化	1698	1542 90.8%	562	504 89.7%	n.s.	188	163 86.7%	3	3 100.0%	n.s.		
VIII B 1 欠陥状態	1807	1639 90.7%	453	407 89.8%	n.s.	188	163 86.7%	3	3 100.0%	n.s.		
VIII B 2 無関心	2013	1831 91.0%	247	215 87.0%	n.s.	190	165 86.8%	1	1 100.0%	n.s.		
VIII B 3 無為	1959	1781 90.9%	301	265 88.0%	n.s.	190	165 86.8%	1	1 100.0%	n.s.		
VIII B 4 その他	2199	1989 90.5%	61	57 93.4%	n.s.	191	166 86.9%	0	0 ----	----		
IX その他	2125	1927 90.7%	135	119 88.1%	n.s.	163	142 87.1%	28	24 85.7%	n.s.		
IX A 性心理的障害	2248	2036 90.6%	12	10 83.3%	n.s.	189	164 86.8%	2	2 100.0%	n.s.		
IX A 1 フェティシズム	2259	2045 90.5%	1	1 100.0%	p<.05	189	164 86.8%	2	2 100.0%	n.s.		
IX A 2 サド・マソヒズム	2260	2046 90.5%	0	0 ----	----	191	166 86.9%	0	0 ----	----		
IX A 3 小児愛	2260	2046 90.5%	0	0 ----	----	191	166 86.9%	0	0 ----	----		
IX A 4 その他	2249	2037 90.6%	11	9 81.8%	n.s.	190	165 86.8%	1	1 100.0%	n.s.		
IX B 薬物依存	2193	1988 90.7%	67	58 86.6%	n.s.	178	155 87.1%	13	11 84.6%	n.s.		
IX B 1 覚醒剤	2221	2014 90.7%	39	32 82.1%	n.s.	186	163 87.6%	5	3 60.0%	n.s.		
IX B 2 有機溶剤	2240	2028 90.5%	20	18 90.0%	n.s.	186	161 86.6%	5	5 100.0%	n.s.		
IX B 3 睡眠薬	2252	2038 90.5%	8	8 100.0%	n.s.	189	164 86.8%	2	2 100.0%	n.s.		
IX B 4 その他	2248	2034 90.5%	12	12 100.0%	n.s.	187	162 86.6%	4	4 100.0%	n.s.		
IX C アルコール症	2209	1999 90.5%	51	47 92.2%	n.s.	171	149 87.1%	20	17 85.0%	n.s.		
IX D その他	2219	2011 90.6%	41	35 85.4%	n.s.	191	166 86.9%	0	0 ----	----		

表6 症状(4)

症状	F6				chi-square=	F7				chi-square=
	なし		あり			なし		あり		
	n	うち罹患者 罹患者%	n	うち罹患者 罹患者%		n	うち罹患者 罹患者%	n	うち罹患者 罹患者%	
I 抑うつ状態	235	178 75.7%	73	62 84.9%	n.s.	148	100 67.6%	16	12 75.0%	n.s.
I 1.抑うつ気分	272	210 77.2%	36	30 83.3%	n.s.	156	106 67.9%	8	6 75.0%	n.s.
I 2.内的不穏	266	203 76.3%	42	37 88.1%	n.s.	161	111 68.9%	3	1 33.3%	n.s.
I 3.焦燥・激越	274	210 76.6%	34	30 88.2%	n.s.	161	109 67.7%	3	3 100.0%	n.s.
I 4.精神運動抑制	306	239 78.1%	2	1 50.0%	n.s.	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
I 5.罪悪感	307	239 77.9%	1	1 100.0%	n.s.	163	111 68.1%	1	1 100.0%	n.s.
I 6.自殺念慮または企図	258	194 75.2%	50	46 92.0%	p<.01	156	105 67.3%	8	7 87.5%	n.s.
I 7.睡眠障害	280	215 76.8%	28	25 89.3%	n.s.	156	105 67.3%	8	7 87.5%	n.s.
I 8.食欲障害または体重減少	303	235 77.6%	5	5 100.0%	n.s.	161	109 67.7%	3	3 100.0%	n.s.
I 9.その他	306	239 78.1%	2	1 50.0%	n.s.	163	111 68.1%	1	1 100.0%	n.s.
II 躁状態	259	194 74.9%	49	46 93.9%	p<.01	152	105 69.1%	12	7 58.3%	n.s.
II 1.高揚気分	300	232 77.3%	8	8 100.0%	n.s.	160	111 69.4%	4	1 25.0%	n.s.
II 2.多弁・多動	291	223 76.6%	17	17 100.0%	p<.05	158	109 69.0%	6	3 50.0%	n.s.
II 3.行為心迫	304	236 77.6%	4	4 100.0%	n.s.	162	111 68.5%	2	1 50.0%	n.s.
II 4.思考奔逸	304	236 77.6%	4	4 100.0%	n.s.	161	110 68.3%	3	2 66.7%	n.s.
II 5.易怒性・被刺激性亢進	263	198 75.3%	45	42 93.3%	p<.01	152	105 69.1%	12	7 58.3%	n.s.
II 6.睡眠障害	295	227 76.9%	13	13 100.0%	p<.05	159	110 69.2%	5	2 40.0%	n.s.
II 7.誇大性	299	231 77.3%	9	9 100.0%	p<.05	161	110 68.3%	3	2 66.7%	n.s.
II 8.その他	308	240 77.9%	0	0 ----	-----	164	112 68.3%	0	0 0.0%	-----
III 幻覚妄想状態	224	168 74.1%	84	74 88.1%	p<.01	84	42 50.0%	80	70 87.5%	p<.000001
III 1.幻覚	272	207 76.1%	36	33 91.7%	p<.05	117	71 60.7%	47	41 87.2%	p<.001
III 2.妄想	249	186 74.7%	59	54 91.5%	p<.01	107	60 56.1%	57	52 91.2%	p<.00001
III 3.させられ体験	301	234 77.7%	7	6 85.7%	n.s.	151	102 67.5%	13	10 76.9%	n.s.
III 4.思考形式の障害	283	217 76.7%	25	23 92.0%	p<.05	124	76 61.3%	40	36 90.0%	p<.001
III 5.著しく奇異な行為	286	222 77.6%	22	18 81.8%	n.s.	144	96 66.7%	20	16 80.0%	n.s.
III 6.その他	304	238 78.3%	4	2 50.0%	n.s.	162	110 67.9%	2	2 100.0%	n.s.
IV 精神運動興奮状態	172	118 68.6%	136	122 89.7%	p<.00001	86	44 51.2%	78	68 87.2%	p<.000001
IV 1.減食思考	289	222 76.8%	19	18 94.7%	p<.05	144	97 67.4%	20	15 75.0%	n.s.
IV 2.硬い表情・姿勢	266	203 76.3%	42	37 88.1%	n.s.	131	84 64.1%	33	28 84.8%	p<.05
IV 3.興奮状態	218	162 74.3%	90	78 86.7%	p<.01	110	63 57.3%	54	49 90.7%	p<.00001
IV 4.衝動行為	209	151 72.2%	99	89 89.9%	p<.001	105	59 56.2%	59	53 89.8%	p<.00001
IV 5.自傷	285	221 77.5%	23	19 82.6%	n.s.	157	106 67.5%	7	6 85.7%	n.s.
IV 6.その他	301	233 77.4%	7	7 100.0%	n.s.	159	108 67.9%	5	4 80.0%	n.s.
V 昏迷状態	301	235 78.1%	7	5 71.4%	n.s.	158	108 68.4%	6	4 66.7%	n.s.
V 1.無言	307	240 78.2%	1	0 0.0%	n.s.	162	110 67.9%	2	2 100.0%	n.s.
V 2.無動・無反応	306	239 78.1%	2	1 50.0%	n.s.	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
V 3.拒絶・拒食	304	237 78.0%	4	3 75.0%	n.s.	159	108 67.9%	5	4 80.0%	n.s.
V 4.その他	306	239 78.1%	2	1 50.0%	n.s.	162	111 68.5%	2	1 50.0%	n.s.
VI 意識障害	298	231 77.5%	10	9 90.0%	n.s.	162	111 68.5%	2	1 50.0%	n.s.
VI 1.意識混濁	305	238 78.0%	3	2 66.7%	n.s.	163	111 68.1%	1	1 100.0%	n.s.
VI 2.(夜間)せん妄	307	239 77.9%	1	1 100.0%	n.s.	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
VI 3.もうろう	306	239 78.1%	2	1 50.0%	n.s.	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
VI 4.錯乱	305	238 78.0%	3	2 66.7%	n.s.	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
VI 5.その他	305	237 77.7%	3	3 100.0%	n.s.	163	112 68.7%	1	0 0.0%	n.s.
VII 知能障害	286	220 76.9%	22	20 90.9%	n.s.	20	16 80.0%	144	96 66.7%	n.s.
VII A 精神遅滞	290	224 77.2%	18	16 88.9%	n.s.	20	16 80.0%	144	96 66.7%	n.s.
VII B 痴呆	304	236 77.6%	4	4 100.0%	n.s.	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
VII B 1.全体的	308	240 77.9%	0	0 ----	-----	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
VII B 2.まだら(島状)	304	236 77.6%	4	4 100.0%	n.s.	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
VII B 3.依性	308	240 77.9%	0	0 ----	-----	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
VII B 4.その他	308	240 77.9%	0	0 ----	-----	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
VIII 人格の病的状態	32	22 68.8%	276	218 79.0%	n.s.	121	75 62.0%	43	37 86.0%	p<.01
VIII A 人格障害	30	20 66.7%	278	220 79.1%	n.s.	140	92 65.7%	24	20 83.3%	n.s.
VIII A 1.妄想性	249	190 76.3%	59	50 84.7%	n.s.	162	110 67.9%	2	2 100.0%	n.s.
VIII A 2.衝動性	125	90 72.0%	183	150 82.0%	p<.05	143	94 65.7%	21	18 85.7%	p<.05
VIII A 3.演技性	267	209 78.3%	41	31 75.6%	n.s.	161	109 67.7%	3	3 100.0%	n.s.
VIII A 4.回避性	290	229 79.0%	18	11 61.1%	n.s.	163	111 68.1%	1	1 100.0%	n.s.
VIII A 5.その他	214	171 79.9%	94	69 73.4%	n.s.	160	110 68.8%	4	2 50.0%	n.s.
VIII B 残遺性人格変化	299	232 77.6%	9	8 88.9%	n.s.	145	95 65.5%	19	17 89.5%	p<.05
VIII B 1.欠陥状態	304	236 77.6%	4	4 100.0%	n.s.	153	101 66.0%	11	11 100.0%	p<.01
VIII B 2.無関心	303	236 77.9%	5	4 80.0%	n.s.	153	102 66.7%	11	10 90.9%	p<.05
VIII B 3.無為	302	235 77.8%	6	5 83.3%	n.s.	153	102 66.7%	11	10 90.9%	p<.05
VIII B 4.その他	306	238 77.8%	2	2 100.0%	n.s.	161	110 68.3%	3	2 66.7%	n.s.
IX その他	247	187 75.7%	61	53 86.9%	p<.05	149	101 67.8%	15	11 73.3%	n.s.
IX A 性的心理的障害	303	237 78.2%	5	3 60.0%	n.s.	162	111 68.5%	2	1 50.0%	n.s.
IX A 1.フェティシズム	308	240 77.9%	0	0 ----	-----	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
IX A 2.サド・マゾヒズム	308	240 77.9%	0	0 ----	-----	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
IX A 3.小児愛	308	240 77.9%	0	0 ----	-----	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
IX A 4.その他	303	237 78.2%	5	3 60.0%	n.s.	162	111 68.5%	2	1 50.0%	n.s.
IX B 薬物依存	274	210 76.6%	34	30 88.2%	n.s.	156	106 67.9%	8	6 75.0%	n.s.
IX B 1.覚醒剤	291	224 77.0%	17	16 94.1%	n.s.	158	107 67.7%	6	5 83.3%	n.s.
IX B 2.有機溶剤	299	232 77.6%	9	8 88.9%	n.s.	159	108 67.9%	5	4 80.0%	n.s.
IX B 3.麻薬	299	233 77.9%	9	7 77.8%	n.s.	162	110 67.9%	2	2 100.0%	n.s.
IX B 4.その他	300	234 78.0%	8	6 75.0%	n.s.	164	112 68.3%	0	0 ----	-----
IX C アルコール症	270	208 77.0%	38	32 84.2%	n.s.	157	106 67.5%	7	6 85.7%	n.s.
IX D その他	294	229 77.9%	14	11 78.6%	n.s.	158	111 70.3%	6	1 16.7%	p<.05

表7 診断書の項目別・措置要否一覧(1)

属性	措置入院歴		F0	F1	F2	F3	F6	F7
	全診断書	あり群						
全例	-----	*****	n.s.	n.s.	*****	n.s.	##	#####
性別(男性)	n.s.	n.s.	#	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
若年(39歳以下)	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	#
措置入院歴あり	*****	-----	n.s.	**	*	*	n.s.	n.s.
通報種別	全診断書	措置入院歴	F0	F1	F2	F3	F6	F7
一般人申請	n.s.	***	n.s.	n.s.	***	n.s.	n.s.	*
警察官通報	*	**	n.s.	n.s.	*****	n.s.	##	n.s.
検察官通報	###	*	n.s.	n.s.	*****	n.s.	##	*****
矯正施設長通報	#	n.s.	n.s.	n.s.	***	n.s.	n.s.	n.s.
精神病院長届出	n.s.	n.s.	-----	n.s.	***	n.s.	n.s.	n.s.
知事職務診察	*****	n.s.	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*
問題行動	全診断書	措置入院歴	F0	F1	F2	F3	F6	F7
殺人	*****	n.s.	n.s.	**	*****	n.s.	n.s.	n.s.
傷害	*****	*****	**	*****	*****	*	*****	*****
暴行	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****	*****
脅迫	*****	*****	n.s.	*****	*****	*****	*****	**
自殺企図	*****	*	n.s.	*****	*****	**	***	n.s.
自傷	*****	**	n.s.	*****	*****	**	***	*
不潔	*****	n.s.	n.s.	*	*****	n.s.	n.s.	n.s.
放火または弄火	*****	n.s.	n.s.	**	*****	n.s.	n.s.	***
器物損壊	*****	*****	n.s.	*****	*****	**	*****	***
窃盗	*****	*	n.s.	*	*****	*	n.s.	###
侮辱	*****	*	n.s.	*****	*	n.s.	*	n.s.
強盗	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
恐喝	*****	*	-----	*	**	n.s.	**	*
徘徊	*****	**	n.s.	*****	*****	n.s.	*	n.s.
家宅侵入	*****	n.s.	n.s.	***	*****	*	n.s.	n.s.
性的異常行動	*****	#	n.s.	n.s.	*****	n.s.	n.s.	n.s.
風俗犯的行動	**	n.s.	-----	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.
無断離院	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
無銭飲食	*****	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
無賃乗車	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
その他	*****	n.s.	n.s.	*	n.s.	***	**	n.s.
問題行動	全診断書	措置入院歴	F0	F1	F2	F3	F6	F7
I 抑うつ状態	**	n.s.	n.s.	n.s.	#	n.s.	n.s.	n.s.
I 1.抑うつ気分	**	n.s.	n.s.	n.s.	###	n.s.	n.s.	n.s.
I 2.内的不穏	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.
I 3.焦燥・激越	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
I 4.精神運動制止	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	-----
I 5.罪責感	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.
I 6.自殺念慮または企図	***	n.s.	n.s.	*	n.s.	***	**	n.s.
I 7.睡眠障害	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
I 8.食欲障害または体重減少	n.s.	n.s.	n.s.	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
I 9.その他	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
II 躁状態	*	**	*	*	n.s.	n.s.	**	n.s.
II 1.高揚気分	n.s.	n.s.	-----	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
II 2.多弁・多動	*	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.
II 3.行為心迫	n.s.	n.s.	-----	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
II 4.思考奔逸	*	n.s.	-----	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
II 5.易怒性・被刺激性亢進	**	*	*	*	n.s.	n.s.	**	n.s.
II 6.睡眠障害	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.
II 7.誇大性	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.
II 8.その他	n.s.	-----	-----	n.s.	*	n.s.	-----	-----

有意に要措置 * : p<.05, ** : p<.01, *** : p<.001, **** : p<.0001, ***** : p<.00001, ***** : p<.000001
 有意に措置不要 # : p<.05, ## : p<.01, ### : p<.001, #### : p<.0001, ##### : p<.00001, ##### : p<.000001

表7 診断書の項目別・措置要否一覧(2)

症状	措置入院歴		F0	F1	F2	F3	F6	F7
	全診断書	あり群						
III 幻覚妄想状態	*****	****	n.s.	*****	*****	n.s.	**	*****
III 1. 幻覚	*****	n.s.	n.s.	*****	*	n.s.	*	***
III 2. 妄想	*****	***	n.s.	*****	*****	n.s.	**	*****
III 3. させられ体験	*****	*	n.s.	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
III 4. 思考形式の障害	*****	***	n.s.	***	*****	n.s.	*	***
III 5. 著しく奇異な行為	*****	*	n.s.	*****	***	n.s.	n.s.	n.s.
III 6. その他	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
IV 精神運動興奮状態	*****	*****	**	*****	*****	n.s.	*****	*****
IV 1. 減裂思考	*****	*	n.s.	***	*****	n.s.	*	n.s.
IV 2. 硬い表情・姿勢	*****	*	n.s.	*****	*****	n.s.	n.s.	*
IV 3. 興奮状態	*****	***	***	*****	*****	n.s.	**	*****
IV 4. 衝動行為	*****	*****	*****	*****	*****	n.s.	***	*****
IV 5. 自傷	*****	n.s.	n.s.	**	**	n.s.	n.s.	n.s.
IV 6. その他	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
V 昏迷状態	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
V 1. 無言	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----	n.s.
V 2. 無動・無反応	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----	n.s.
V 3. 拒絶・拒食	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
V 4. その他	n.s.	n.s.	----	n.s.	n.s.	----	n.s.	n.s.
VI 意識障害	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
VI 1. 意識混濁	##	n.s.	#	n.s.	n.s.	----	n.s.	n.s.
VI 2. (夜間)せん妄	#	n.s.	##	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----
VI 3. もうろう	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----
VI 4. 錯乱	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----
VI 5. その他	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	----	n.s.	n.s.
VII 知能障害	#####	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
VII A 精神遅滞	#####	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
VII B 痴呆	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----
VII B 1. 全体的	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----	----
VII B 2. まだら(島状)	n.s.	*	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----
VII B 3. 仮性	n.s.	----	----	----	*	----	----	----
VII B 4. その他	n.s.	----	n.s.	n.s.	n.s.	----	----	----
VIII 人格の病的状態	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	**
VIII A 人格障害	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
VIII A 1. 妄想性	n.s.	n.s.	n.s.	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
VIII A 2. 衝動性	n.s.	n.s.	n.s.	**	n.s.	n.s.	*	*
VIII A 3. 演技性	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
VIII A 4. 回避性	#	n.s.	----	n.s.	#	n.s.	n.s.	n.s.
VIII A 5. その他	##	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
VIII B 残遺性人格変化	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*
VIII B 1. 欠陥状態	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	**
VIII B 2. 無関心	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*
VIII B 3. 無為	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*
VIII B 4. その他	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----	n.s.	n.s.
IX その他	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	*	n.s.
IX A 性心理的障害	n.s.	*	----	----	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
IX A 1. フェティシズム	n.s.	----	----	----	*	n.s.	----	----
IX A 2. サド・マゾヒズム	----	----	----	----	----	----	----	----
IX A 3. 小児愛	----	----	----	----	----	----	----	----
IX A 4. その他	n.s.	*	----	----	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
IX B 薬物依存	n.s.	n.s.	n.s.	**	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
IX B 1. 覚醒剤	n.s.	n.s.	----	***	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
IX B 2. 有機溶剤	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
IX B 3. 睡眠薬	n.s.	n.s.	----	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
IX B 4. その他	n.s.	n.s.	----	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----
IX C アルコール症	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
IX D その他	#####	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	----	n.s.	#

有意に要措置 *: p<.05, **: p<.01, ***: p<.001, ****: p<.0001, *****: p<.00001, *****: p<.000001

有意に措置不要 #: p<.05, ##: p<.01, ###: p<.001, ####: p<.0001, #####: p<.00001, #####: p<.000001

総括研究報告書

措置入院制度の適正な運用と 社会復帰支援に関する研究

主任研究者 浦田 重治郎

国立精神・神経センター国府台病院

厚生労働科学研究補助金（障害保健福祉総合研究事業）
措置入院制度の適正な運用と社会復帰支援に関する研究
分担研究報告書

措置入院患者のフォローと社会復帰に関する研究

分担研究者 浦田重治郎（国立精神・神経センター国府台病院）
研究協力者 伊藤順一郎（国立精神・神経センター精神保健研究所）
亀井 雄一（国立精神・神経センター国府台病院）
鈴木友理子（国立精神・神経センター国府台病院）

研究要旨

【目的】措置入院患者における退院後の治療の在り方を明らかにするために、包括型地域生活支援プログラム（ACT）モデルを用いて措置入院患者が退院後の医療及び社会復帰・生活支援のニーズの評価を実施計画に必要な事項を検討し、このサービスモデルのあり方の評価を行った。【方法】既に国府台地区で施行されている包括型地域生活支援プログラム（ACT）の利用者のなかで、その経過中に措置入院の処遇をとったものを対象に、入院中、退院後の地域生活支援、特に再入院の危機時の対応について、量的に分析した。ACTのサービスのプロセスについては、日々のサービスの投入量をサービスコードの集計を通じて検討した。【結果】措置入院患者の5名をみると、退院後6ヶ月間に措置入院患者に提供されたサービスの総時間数は、2.8から128.4（時間）と大きな幅があった。中央値は38.9（時間）であった。措置入院以外の利用者では、サービスの提供時間の最小値は4.2（時間）、最大は185（時間）とその幅は広く、サービス時間の分布をみるとばらつきが明らかであり、入院形態別での特徴は特になかった。ケースマネジャーのアウトリーチ（地域への訪問）時間は、2.5から79.3（時間）であり、中央値は37.9（時間）であった。サービスの提供内容を個々のケースで見ると、精神症状・服薬管理（通常・危機時とも含む）が圧倒的に多かったが、一定の傾向は見られなかった。【考察】ACTの支援ニーズは、入院形態によって規定されるのではなく、それぞれの患者の持つニーズや周囲のサポート力によることが示唆された。しかし、措置入院の患者の多くは、医療中断のリスクの高いものが多いことが伺われ、この医療中断へのリスクに対してはACTのような治療および生活の両面で支援するプログラムが継続的に地域で関与するうえでの有用性が考えられた。

A. 研究目的

本分担研究では措置入院患者における退院後の治療の在り方を明らかにする。措

置入院中の患者について措置解除までに退院後の医療および社会復帰・生活支援のニーズについての評価を行うことは特

に重要である。措置入院の患者は、多方面にニーズがあり、社会生活適応にリスクを有しているものと一般に考えられる。治療・社会復帰支援の実施計画を立て、措置解除後にその実施計画にもとづいて医療および社会復帰・生活支援を行い、また一定期間ごとにあるいは病状ないし生活状況の変化に応じて計画の見直しを行うという手法は退院後の治療の質を高めることになる。このようなケア・プログラムアプローチのひとつとして、ACTモデルが挙げられ、欧米では当初脱施設化の手段として用いられたが、その後は多くのニーズを持つ精神障害者のケアのあり方として用いられている。本研究では、ACTモデルを用いて、措置入院患者が退院後の医療及び社会復帰・生活支援のニーズの評価を実施計画に必要な事項を検討し、このサービスモデルのあり方の評価を行う。

欧米では1970年代からACTモデルが導入されその後普及されたが、わが国においては、H15.5に厚生科学研究こころの健康科学研究事業として初めて臨床活動が開始された。したがって、対象となるACTプログラムはわが国では経験も浅く、とくに措置入院処遇の患者への支援は症例数が限定されている。このために、本研究では、ACT-Jプログラムの実施状況についての報告をし、とくに措置入院者への支援をめぐる問題点の考察を加える。考察での議論は以下の点について検証することとする。

研究仮説1：措置入院患者に対する地域生活支援のサービス投入量は、他の入院形態の患者への対応と異ならない。むしろ

それぞれのもつ多重のニーズが地域生活でのサービス密度を示す予測因子になる。生活障害をもつ精神障害者は住居、家族関係、言葉、病気の理解度など、多領域で複数のニーズをもつ。しかし、これは措置入院者に限られるものではない。研究仮説2：措置入院患者の地域生活継続の困難は、容易に医療中断をきたす者が多く、この結果として疾患の再発、それによる再入院が生じやすい。

B. 研究方法

既に国府台地区で施行されている包括型地域生活支援プログラム（ACT）の利用者のなかで、その経過中に措置入院の処遇をとったものを対象に、入院中、退院後の地域生活支援、特に再入院の危機時の対応について、量的に分析した。

包括型地域生活支援プログラムとは

国立精神・神経センター国府台病院および精神保健研究所における、包括型地域生活支援プログラム（ACT）は平成14年度から基盤整備が進められ、平成15年5月から臨床活動（ACT-J）が開始された。その対象者は、国府台病院精神科入院したもののうち、入院前の精神医療サービス利用状況と社会適応、日常生活状況により重い精神障害をもつと判断され、研究趣旨に自発的な同意が得られた者である。

これらの対象者に対して、ACT-Jのスタッフはケースマネジメントの一連のプロセスを実施し、そのうえで、チーム精神科医による診察と処方、病気と服薬を利用者が自己管理するための支援、危機介入時の対応、住居確保・維持に関する支援、日常生活の支援、身体的な健康に関する

支援、就労支援、家族支援・家族心理教育、他機関との連絡調整、などさまざまな領域にわたるサービスを、利用者の生活の場に出向くことによって提供している。

対象者

ACT-J プログラムのパイロット研究期間中（H15.5.1-H16.4.30）に登録したものは、43人であった。ACTの加入基準は、K病院精神科にこの上記期間に入院したもののうち、以下の全ての項目を満たすものである。①年齢が18歳以上60歳未満、②主診断が統合失調症、感情障害等の精神疾患（主診断が知的障害、痴呆、薬物・アルコール依存、人格障害であるものは除外）、③居住地が市川・松戸・船橋の3市、④急性薬物中毒の処置や合併症治療以外の目的での入院、⑤入院前2年間の精神医療サービスの利用状況、入院前2年間の社会適応、入院前1年間の日常生活の状況、以上の3領域に関して独自に作成した基準により重症の精神障害を抱えていると判断される、⑦研究の趣旨について十分な説明を受け、参加について自発的な同意が得られる、以上全ての条件を満たす者を対象としている。上記のように、入院形態は加入基準の項目に含まれていない。

このうち、ACT登録時に措置入院であったものは、3人であった。また、このパイロット研究の対象者の地域生活を支援していく過程のなかで、措置入院となったものは3名（1人は、登録入院時、再入院ともに措置入院処遇）であった。本研究では、観察期間中に措置入院の処遇をうけた5名を対象とした。

それぞれの、治療処遇に関する簡単なプ

ロフィールは以下のとおりである。

症例1：40歳代、男性、統合失調症（任意入院→退院、ACT支援→措置入院、退院後単身生活継続中）

症例2：30歳代、男性、双極性障害（医療保護入院→退院、ACT支援→措置入院、退院後単身生活）

症例3：40歳代、男性、統合失調症（措置入院→退院、ACT支援に拒否的→措置入院、現在入院継続中）

症例4：30歳代、女性、症状精神病（措置入院→退院、ACT支援中、単身生活継続中）

症例5：50歳代、女性、双極性障害（措置→退院、ACT支援中、単身生活継続中）
本研究では、この5人のケースシリーズを、サービスのプロセスについて、量的に分析する。

サービスプロセスの量的な分析

ACTのサービスのプロセスについては、日々のサービスの投入量をサービスコードの集計を通じて検討した。

この援助介入サービスコードは、ケアガイドライン方式ケアマネジメントの援助内容、ホームヘルプサービスの援助内容、家族ケアの援助内容（協力度尺度）などを参考にアイテムプールを作成し、精神障害者の地域生活援助に詳しい複数の専門職が項目選定を行った。大分類は、ジョイニング・エンゲージメント、ケースマネジメントなど「I：ACTの枠組み・全体状況に関する支援」の3項目、危機介入、日常生活の支援など「II：直接援助サービス」の15項目、主治医・医療機関との連絡調整・情報交換、地域援助機関との連絡・調整・コンサルテーションなど「III.